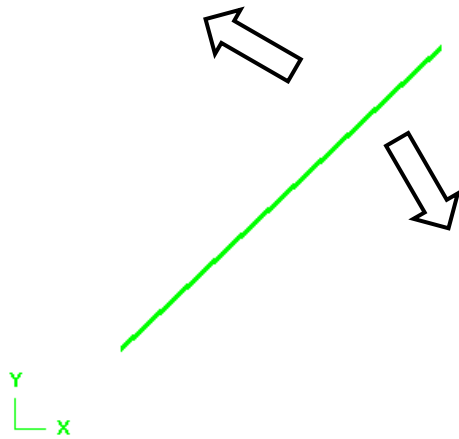


【1-13 / スピンコントロール】

図形作成機能と変形移動機能でスピンコントロール機能が利用できます。

フィールドに値を入力する方法ではなく、上下の矢印を選択することでフィールド内の数値を徐々に大きくしたり、小さくしたりすることが出来ます。



グラフィックウィンドウ内の図形はコントロールされた値でアクティブに変化します。

各機能のスピンコントロールはシステムコンフィグで設定した数値で増減します。

ファイル⇒ コンフィグ⇒ スピン コントロール — メトリック



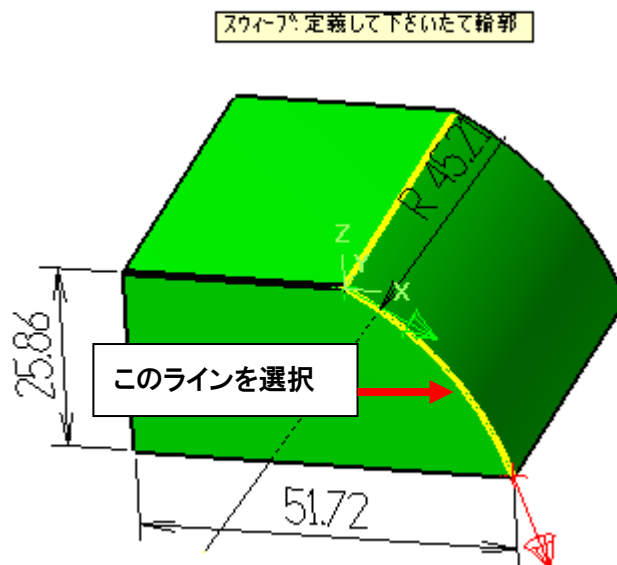
(2) たて輪郭を定義

操作は、よこ輪郭を定義すると、たて輪郭選択に移ります。

操作では、円弧のみ選択しています。

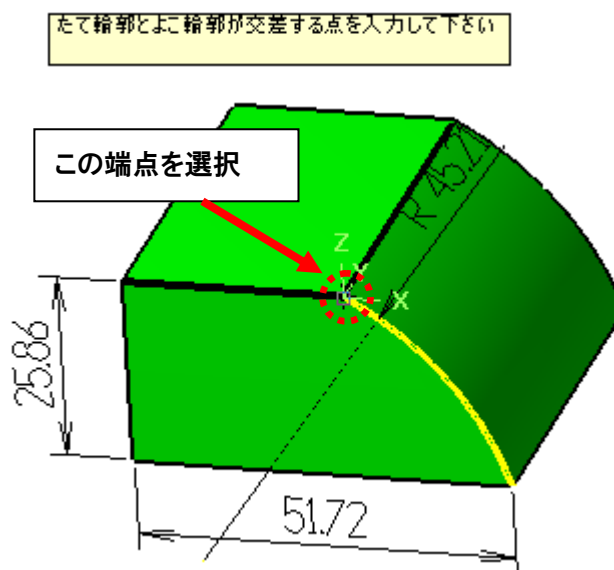
※チェーンになっている場合は、円弧のみ選択しても、よこ輪郭で指示したラインまで選択されてしまうので、注意してください。

※たて輪郭も、よこ輪郭も、チェーンや部分で、要素を複数選択することも可能です。



(3) よこ輪郭と、たて輪郭の交点を選択します。

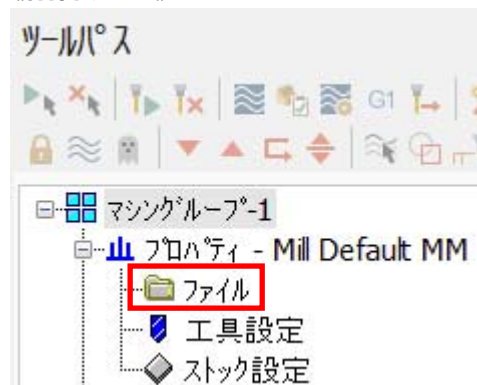
あらかじめ点を作成する必要はありません。



《インポート・エクスポートの編集》

間違えてエクスポートした工程や不要になった工程は、インポート/エクスポートのどちらの画面からも編集することはできません。

《削除方法》



- ① ツールパス画面からマシングループのプロパティを展開します。

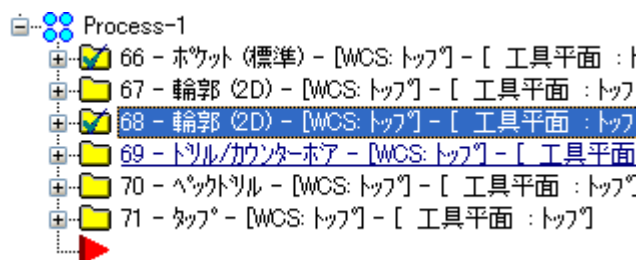
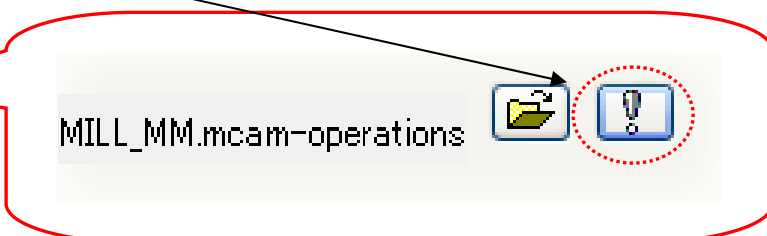
- ② ファイルを選択



- ③ マシングループプロパティが開きます。

操作ライブラリの

- ③ 図のボタンを選択してください。



- ④ 削除したい工程を選択して、Del キーで削除を実行します。



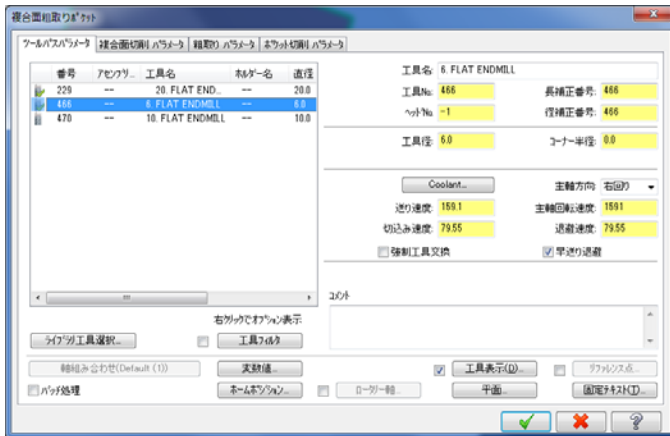
右クリックで削除も行えます。

- ⑤ 削除後に“③”の画面に戻ります。完了したら OK で終了します。



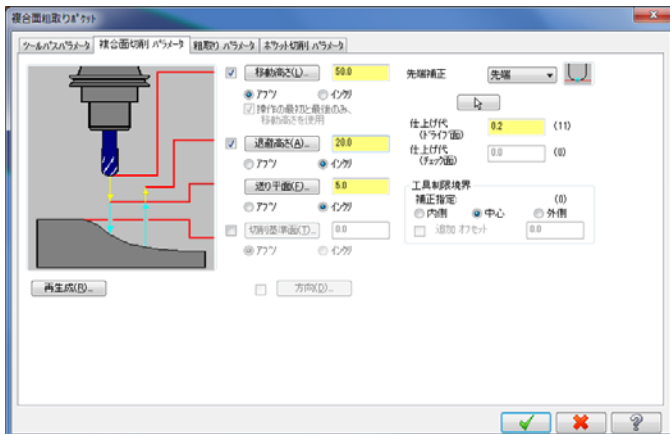
【6-3 / 複合面粗取りポケットツールパスパラメータ】

複合面粗取りポケット画面



2D 機能同様の工具選択方法です。
(P136~137 参照)

複合面粗取りポケット — 複合面切削パラメータ画面



⑤ 移動高さを設定

※ここでは加工開始高さ、終了高さを設定しません。

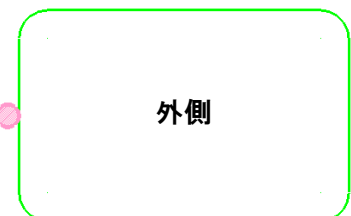
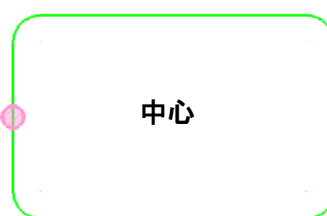
⑥ 仕上げ代を設定

※設定された値は、曲面との最短距離で計算されます。

〔工具制限境界パラメータ詳細〕

補正指定 - 内側 / 中心 / 外側

中心では、工具制限境界を基準に、その中心に向かって切削するように工具を配置します。
内側と外側は、どちらも工具直径の半分だけ工具をオフセットします。

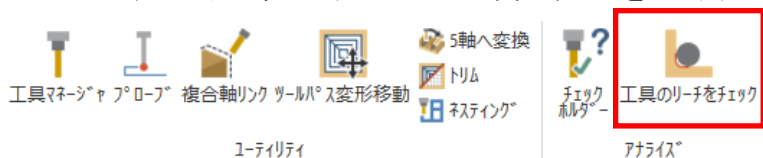


補正指定: (0)
 内側 中心 外側
 合計オフセット 0.0

ラインからオフセットして設定することも可能です。
複合面粗取りポケット — 切削パラメータ画面

【7-30 / 工具のリーチをチェック】

ツールパスタブ⇒アナライズグループ⇒工具のリーチをチェック



工具のリーチをチェック



加工する際に工具が届くかどうか検証する機能
(ツールパスを作成する必要はありません)

ターゲット : 検証モデルを選択します

ポリゴンメッシュを作成 : STL データ作成
保存可能

工具 : 手で刃物を入力するか、ライブラリーから工具を選択できます。
対応工具はフラットエンドミル、ボールエンドミル、ブルノーズ

ホルダー : ホルダーの大きさや工具突き出し量を入力できます。
工具アセンブリで作成されたデータを設定する事もできます。

プレビュー : 工具が届く部分、届かない部分、ホルダー干渉部を色分け
します。

